

環境にやさしい暮らしを目指して!!



山形市では、H20～29年度までの、ごみ処理に関する長期的・総合的な基本方針を示すごみ処理基本計画を策定いたしました。



基本方針 1

みんなでつくる循環型の暮らし

環境にやさしい暮らしづくりを実現するためには、主体となる市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担のもとに連携、協力してごみの発生、排出抑制や環境の利用に取り組むことが必要です。

達成のため、すすめる施策は…

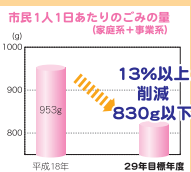
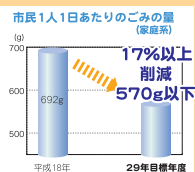
ごみ処理基本計画

基本方針 2

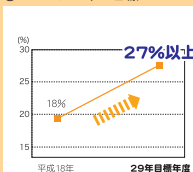
循環型ごみ処理システムの構築

数値目標

①発生抑制・排出抑制の目標



②リサイクル率の目標



③最終処分量の目標



発生抑制・排出抑制

家庭系ごみの有料化

①有料化に取り組む目的

- ・ごみの減量化・資源化の促進
- ・ごみ処理負担の適正化と公平性の確保
- ・処理施設への負担軽減と経費節減

②実施した際の効果

- ・ごみ総排出量の減少、分別の徹底、分別回収の促進

事業系ごみ手数料の適正化

- ・事業系ごみの処理手数料の適正な料金設定の検討

レジ袋の無料配布中止の実施

共創型ネットワークの発展

- ・ごみ減量 ・もったいないねっと山形と連携してごみの減量
- ・資源化の推進

循環資源の有効利用

地域における資源循環の構築

①地域力を活かした回収方式 (地域回収) の拡充

- ・集団資源回収の一層の推進
- ・食品トレーの店頭回収の促進
- ・布類及び紙類の再生資源業者への持ち込み促進

②一般廃棄物系バイオマスの活用

- ・生ごみ処理機等購入補助事業の拡充
- ・バイオディーゼル燃料(BDF)の民間(地域)による取組の促進
- ・新たな技術についての動向や有効性の調査・検討

快適な生活環境の創造

ごみ排出環境の創出

- ・集積所の適正配置や集積所の維持管理への支援

- ・アパート等集合住宅のごみの分別や排出ルール の周知徹底
- ・集積所への事業系ごみの排出排除などの違反ごみ対策

計画達成の効果

新清掃工場の建設費

約32億円の削減



二酸化炭素の排出量が
約7,600t削減されます

杉の木約50万本が吸収する量に相当 (平成18年度対比)



※新清掃工場で発電した時

埋立量が現在の

1/3に (平成18年度対比)

